

聖母の小さな学校 通信

京都府教育委員会認定フリースクール
聖母の小さな学校
2023年
1月10日発行
3学期始業式号 第267号

今年も自立へのプロセスを歩もう！



新しい年をつつがなくお迎えのことと存じます。平素は聖母の小さな学校の教育に、ご理解ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

1月1日の能登半島大地震で被災された多くの方々にお見舞い申し上げます。特に、亡くなられた皆様のご冥福を祈ると共に、未だ安否の分からない皆様が無事であることを祈っております。

このような中、3学期が始まります。義務教育を終え、次の進路を得る生徒たちの新たな学校生活が安定したものになるよう、残された聖母での日々の中で、一層の対人関係の力、また社会性、日常生活の力など、基礎的な力をつけていきたいと思えます。社会参加する上でそれぞれが持っている個別の難しさ、例えば、家を出ようとするだけで緊張しとても外出するのが難しい…あるいは、人に会う・人と話す以前のこと＝人に見られることさえ苦しい…など、色々あります。自分がそこからどのように解放されるかは、それぞれの気持ちの動きや育成される行動力などによって異なります。が、基礎になる力は必要です。まず、基礎的生活力（朝起きる、身支度を整える、本校へ登校する、家の手伝いをする、家族で会話ができる 等）、人と交わる力（家族以外の人の中に安心していることができる、人と話すことができる、他者への共感、思いやりがある 等）などです。この基礎的な力を付けながら、個別の難しさを認知することができるようになります。そして、それぞれが社会的自立に向けた自身の道を歩むこととなります。そして「自身の道を歩む」という意識が本人の中に生まれ、行動にも表れます。その「現れたもの」はとても小さいものなので、本人にも分からないことがあります。学校としては、その小さな行動の変化を見逃さずに捉え、本人と共有し、本人がその意識を継続して持ち続け、自身の行動に力がついてくるのを喜びとすることができるよう見守りたいと思えます。本校の不登校の子どもたちへの教育の根本も、子どもたちと共にあって、子どもたち自身が自然に力を出すことにあります。今学期は、1年のまとめの時期です。多くの体験学習を通して、改めて社会的自立への基礎力を付けたいと思えます。

今学期も多くの先生方にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

<今月の主な行事>

10日(水) 3学期始業式	23日(火) →30日(火) ウズベキスタン文化学習
12日(金) ギター教室(北浦先生)	(アシルバク先生)
17日(水) 美術鑑賞「日展」見学(京セラ美術館)	26日(金) 月例保護者会 18:30~20:00
18日(木) 華道教室(山中先生)	30日(火) →29日(月) 調理実習
19日(金)・26日(金) 陶芸教室(高井先生)	31日(水) 体育(渡邊先生)

<余録>

うれしい知らせがありました。在校当時、人が怖くて仕方がなかった生徒、人といると疲れてしんどくなって、すぐに人を避けてしまう生徒、人が自分のことをどう評価するか、そればかりが気になり、学生生活、社会人生活でも行き詰ってばかりいた生徒…彼らは聖母を卒業後も自身の課題を意識しながら過ごし、徐々に自身の問題との付き合い方を知り、自身の傾向と共存できるまでになりました。これも不登校の経験から学んだことです。その3名が結婚の報告に来てくれました。「人と共に生きる」…とてもうれしいことです。ご報告いたします。